



知識・情報共有プラットフォームSoya

目的

メタデータを利用したソフトウェアの開発にかかわるプログラムの負担を軽減するため、複雑な技術を隠蔽しメタデータとデータ及びそれらを扱うためのモジュール化されたプログラムを、効率的に開発・共有できるプラットフォーム、「知識・情報共有プラットフォームSoya」を前年度に引き続いて開発を行いました。全ての成果はオープンソースとして公開されています。

実装されている機能

- メタデータを利用・蓄積するための基本的な実装
- RDFライブラリKaibashira (PHP/Ruby)の実装
- SPARQLによるマルチモデル検索
- データ・メタデータへの一意なIDの付与
- データ・メタデータを取り扱うプログラムの共有(モジュール)
- モジュール作成ツールの提供

公式Webサイト

<http://soya.guarana.cc/>

知識・情報共有プラットフォームSoyaは、IPA未踏ソフトウェア事業の支援を受けながら開発が行われてきました。開発には稚内北星学園大学と名古屋大学大学院のメンバーが行っています。

- ・石戸谷 顕太郎(名古屋)
- ・角 正史(稚内)
- ・溝口 義一(稚内)
- ・太田 生人(稚内)